



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所 東  
コード番号 2425 URL <https://www.care.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 福原 俊晴  
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 木高 毅史（TEL） 03-5753-1170  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,931	4.2	245	29.5	251	26.1	161	44.3
2024年3月期中間期	4,730	4.8	189	48.0	199	59.4	111	8.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 158百万円（38.6%） 2024年3月期中間期 114百万円（△3.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	42.47	—
2024年3月期中間期	29.44	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,866	2,740	70.9
2024年3月期	3,857	2,642	68.5

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 2,740百万円 2024年3月期 2,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,149	5.3	640	23.5	653	17.4	437	15.8	115.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社ケアサービス  
 ヒューマンキャピタル
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	4,200,000株	2024年3月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	406,807株	2024年3月期	406,780株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	3,793,211株	2024年3月期中間期	3,793,239株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の下、景気は緩やかな回復が見られました。一方、中東情勢の悪化やウクライナ情勢の長期化による、エネルギー価格および原材料価格の高止まりや円安の長期化など、依然として不透明な状況が続いております。

介護業界におきましては、食材費や消耗品コストの上昇が続いており、また高齢化率の上昇に伴い介護サービスの需要は拡大しているものの、サービスを担う人材を適時適切に確保することは非常に難しく、人件費及び採用コストの上昇が続いており、介護人材の採用と定着が引き続き介護事業者の大きな課題となっております。

このような状況の下、当社グループは「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供するための経営基盤の構築を図るとともに事業拡大に努めてまいりました。

経費や業務の見直し等によるコスト削減と、研修・教育の強化、将来を担う社員の人材育成や従業員の給与水準の引き上げ等、各サービスの品質向上に繋がる投資を継続するとともに、地域のニーズに適合したサービス展開と、事業所の商圏エリア及び顧客基盤を活用した事業の拡大に努めました。

当中間連結会計期間における国内既存事業所数につきましては、1事業所開設、2事業所閉鎖し、合計112事業所となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,931百万円(前中間連結会計期間比4.2%増)、営業利益は245百万円(前中間連結会計期間比29.5%増)、経常利益は251百万円(前中間連結会計期間比26.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は161百万円(前中間連結会計期間比44.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (在宅介護サービス事業)

当事業におきましては、デイサービス、訪問入浴の売上は堅調に推移したものの、介護事業全体で人件費及び消耗品等の費用が増加しました。

事業所の出退店状況は、居宅介護支援事業所1事業所開設、デイサービスセンター1事業所閉鎖、訪問看護事業所1事業所閉鎖となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,540百万円(前中間連結会計期間比1.3%増)、セグメント利益は280百万円(前中間連結会計期間比0.4%増)となりました。

#### (シニア向け総合サービス事業)

当事業におきましては、エンゼルケアサービスにおいて、サービス品質向上のための研修等の取り組みが奏功し、業績は好調に推移しました。また、今後の拠点拡大に向け、人材育成にも努めております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,390百万円(前中間連結会計期間比12.7%増)、セグメント利益は306百万円(前中間連結会計期間比32.0%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ①資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より9百万円増加し、3,866百万円となりました。

## (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、3,097百万円(前連結会計年度末3,076百万円)となり、21百万円増加しました。現金及び預金34百万円の減少、流動資産その他54百万円の増加が主な要因であります。

## (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、768百万円(前連結会計年度末780百万円)となり、12百万円減少しました。建物(純額)5百万円の減少、のれん4百万円の減少が主な要因であります。

## (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、843百万円(前連結会計年度末924百万円)となり、80百万円減少しました。未払費用24百万円の増加、未払法人税等37百万円の増加、賞与引当金12百万円の増加に対し、流動負債その他が160百万円減少したことが主な要因であります。

## (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、281百万円(前連結会計年度末290百万円)となり、8百万円減少しました。退職給付に係る負債7百万円の増加、固定負債その他15百万円の減少が主な要因であります。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、2,740百万円(前連結会計年度末2,642百万円)となり、98百万円増加しました。親会社株主に帰属する中間純利益の計上による161百万円の増加に対し、配当金の支払いによる60百万円の減少が主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して34百万円減少し、1,488百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、131百万円(前中間連結会計期間は218百万円の獲得)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益248百万円、減価償却費65百万円、賞与引当金の増加12百万円に対し、未払金の減少117百万円、法人税等の支払額46百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、87百万円(前中間連結会計期間は36百万円の使用)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出43百万円、無形固定資産の取得による支出40百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、76百万円(前中間連結会計期間は92百万円の使用)となりました。これは、配当金の支払額60百万円、リース債務の返済による支出15百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想数値から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,522,981	1,488,746
売掛金	1,471,940	1,472,744
その他	81,748	136,629
貸倒引当金	△259	△240
流動資産合計	3,076,410	3,097,879
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	149,691	144,071
その他(純額)	176,125	182,857
有形固定資産合計	325,816	326,929
無形固定資産		
のれん	8,233	3,636
その他	62,430	55,802
無形固定資産合計	70,663	59,439
投資その他の資産		
敷金及び保証金	195,008	193,600
その他	189,524	188,721
貸倒引当金	△42	△185
投資その他の資産合計	384,490	382,136
固定資産合計	780,970	768,504
資産合計	3,857,381	3,866,384

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,982	144,908
未払費用	275,561	299,956
未払法人税等	79,798	117,713
賞与引当金	130,186	143,125
その他	299,021	138,123
流動負債合計	924,550	843,828
固定負債		
退職給付に係る負債	222,738	230,017
その他	67,375	51,696
固定負債合計	290,114	281,714
負債合計	1,214,664	1,125,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,443,593	2,543,993
自己株式	△148,247	△148,271
株主資本合計	2,638,546	2,738,921
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,170	1,920
その他の包括利益累計額合計	4,170	1,920
純資産合計	2,642,717	2,740,841
負債純資産合計	3,857,381	3,866,384

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,730,198	4,931,152
売上原価	4,170,699	4,287,948
売上総利益	559,498	643,204
販売費及び一般管理費	370,319	398,201
営業利益	189,178	245,003
営業外収益		
受取保険金	4,886	149
補助金収入	4,444	3,476
助成金収入	1,256	444
為替差益	-	1,840
その他	1,724	1,293
営業外収益合計	12,311	7,204
営業外費用		
支払利息	1,160	510
為替差損	534	-
その他	521	336
営業外費用合計	2,217	847
経常利益	199,273	251,360
特別損失		
事業所閉鎖損失	13,341	2,927
固定資産除却損	950	-
特別損失合計	14,291	2,927
税金等調整前中間純利益	184,981	248,433
法人税等	73,306	87,341
中間純利益	111,674	161,091
親会社株主に帰属する中間純利益	111,674	161,091



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	111,674	161,091
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,921	△2,250
その他の包括利益合計	2,921	△2,250
中間包括利益	114,596	158,840
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	114,596	158,840

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	184,981	248,433
減価償却費	66,223	65,853
のれん償却額	7,216	4,596
固定資産除却損	950	-
受取保険金	△4,886	△149
補助金収入	△4,444	△3,476
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△279	123
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,759	12,939
事業所閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△709
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,289	7,278
受取利息及び受取配当金	△48	△171
支払利息	1,160	510
売上債権の増減額(△は増加)	△40,525	△870
棚卸資産の増減額(△は増加)	101	△2,168
その他の資産の増減額(△は増加)	10,352	△52,753
仕入債務の増減額(△は減少)	12,122	4,925
未払金の増減額(△は減少)	110,867	△117,768
未払費用の増減額(△は減少)	1,545	24,395
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,172	△8,637
その他の負債の増減額(△は減少)	21,275	△8,307
小計	348,972	174,042
利息及び配当金の受取額	48	171
利息の支払額	△1,159	△510
保険金の受取額	4,886	149
補助金の受取額	4,444	3,476
法人税等の支払額	△139,088	△46,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,102	131,232

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△42,438	△43,323
無形固定資産の取得による支出	△6,397	△40,914
敷金及び保証金の差入による支出	△1,015	△2,883
敷金及び保証金の回収による収入	14,768	3,457
長期前払費用の取得による支出	△2,803	△4,274
その他	1,139	741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,747	△87,196
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△12,530	-
自己株式の取得による支出	-	△24
配当金の支払額	△52,943	△60,431
リース債務の返済による支出	△27,431	△15,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,904	△76,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,507	△2,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,958	△34,235
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,728	1,522,981
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,288,687	1,488,746

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,495,960	1,234,237	4,730,198	—	4,730,198
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,495,960	1,234,237	4,730,198	—	4,730,198
セグメント利益	279,475	232,632	512,107	△322,928	189,178

(注) 1. セグメント利益の調整額△322,928千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△322,928千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,540,764	1,390,388	4,931,152	—	4,931,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,540,764	1,390,388	4,931,152	—	4,931,152
セグメント利益	280,464	306,962	587,426	△342,423	245,003

(注) 1. セグメント利益の調整額△342,423千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△342,423千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。